

小学館
からの
お知らせ

1/3

速報

第61回

『小学館児童出版文化賞』 が決定いたしました。

受賞作

『くちびるに歌を』

中田永一(なかた・えいいち)／作 小学館／刊

小学館は本日、第61回『小学館児童出版文化賞』(*)の最終選考会を行い、受賞作を『くちびるに歌を』(中田永一／作 小学館／刊)に決定いたしました。

なお、贈賞式は、11月8日(木)午後5時30分より、如水会館(千代田区一ツ橋)にて挙行の予定です。正賞としてブロンズ像「わかば」(笹戸千津子作)、副賞として賞金100万円が授与されます。

(*) 第45回(平成8年)から「小学館文学賞」「小学館絵画賞」を発展的に統合し、改称いたしました。

第61回

小学館児童出版文化賞 決定

主催 (株)小学館

 受賞作 

『くちびるに歌を』

中田永一／作 小学館／刊

【概要】

長崎県の小さな島にある中学校の合唱部は夏のNコン（NHK全国学校音楽コンクール）大会に向けて猛練習中だ。女子部員だけだったのに、臨時教員として赴任してきた女先生が男子との混成合唱曲での出場を勝手に決めてしまう。やる気のない男子たちとの練習で大混乱の日々が始まる。さらに先生は課題曲「手紙～拝啓 十五の君へ～」にちなみ、十五年後の自分に向けて手紙を書くよう宿題を出す。ただし提出の義務はなし。そして率直に書かれた彼等の手紙の一通一通には誰にもいえない、等身大の「秘密」が綴られていた――。

【プロフィール】

中田永一（なかた・えいいち）

福岡県生まれ。2008年、『百瀬、こっちを向いて』で単行本デビュー。『くちびるに歌を』が本屋大賞第4位に。別名義での作品も多数発表。

【第61回小学館児童出版文化賞 選考経過】

今回は、平成23年4月から平成24年3月までに発表された、絵本（創作絵本・写真絵本など）、童話・文学（フィクション・詩・シナリオなど）、その他（ノンフィクション・科学絵本・図鑑・事典など）の出版物（翻訳・キャラクター・コミックスなどは除く）で、幼年ならびに少年少女に推薦したい優れた作品を対象として、事務局内に予選委員会を設け、選考にあたってまいりました。

選考に先立って、審査委員・作家・画家・写真家・各出版社・新聞社・児童文化団体・図書館・書店児童図書担当者・読者からの推薦を募りました。それに事務局が収集した作品を加えて予備選考を行った結果、以下の作品が今年度の候補作となりました。

これらの作品を、審査委員の伊藤秀男、今森光彦、いわむらかずお、角田光代、ねじめ正一（50音順）の5名の先生方にご審査いただき、9月13日の最終選考会におきまして、受賞作を決定いたしました。

第61回 小学館児童出版文化賞 候補作品（50音順）

ジャンル	作品名	作者名	発行所	発行年月
絵本	うきわねこ	蜂飼耳/牧野千穂	ブロンズ新社	2011年7月
読み物	オン・ザ・ライン	朽木 祥	小学館	2011年7月
読み物	救命救急フライトドクター 攻めの医療で命を救え!	岩貞るみこ	講談社	2011年7月
読み物	くちびるに歌を	中田永一	小学館	2011年11月
読み物	セキタン! ぶちかましてオンリー・ユー	須藤靖貴	講談社	2011年9月
絵本	地球をほる	川端 誠	BL出版	2011年9月
絵本	パパのしごとはわるものです	板橋雅弘/吉田尚令	岩崎書店	2011年5月
絵本	へちまのへーたろー	二宮由紀子/スドウピウ	教育画劇	2011年6月
絵本	ぼくのトイレ	鈴木のりたけ	PHP研究所	2011年8月
絵本	ほげちゃん	やぎたみこ	偕成社	2011年6月
読み物	レンタルロボット	滝井幸代	学研教育出版	2011年9月
絵本	恋ちゃん初めての看取り —おおばあちゃんの死と向きあう—	國森康弘	農山漁村文化協会	2012年1月

【小学館児童出版文化賞について】

「小学館児童出版文化賞」は、児童出版文化の向上に貢献すると認められる作品及び作家を毎年選定し顕彰するものです。

この賞は、昭和27年（1952年）に小学館の創業30周年を記念して、「小学館文学賞」「小学館絵画賞」として創設され、平成8年（1996年）から発展的に統合し改称いたしました。

今後とも、是非この賞の趣旨をご理解いただき、少しでも多くの方にこの賞の存在意義について知っていただければ幸いです。そして、21世紀を担っていく子どもたちにとって1冊でも多くの優れた作品が出版されるために、この賞が少しでも寄与することができれば、と考えております。